

# 「なよろの水」で 名寄開花宣言！



ペットボトル水のイメージ図

厚生労働省や日本水道協会では、人口の減少や生活習慣の多様化によって水道水の利用が低迷していることを受け、飲み物としてもっとも安全性の高い水道水のイメージアップを図ることを目的とした「健康のため水を飲もう推進運動」を進めています。

名寄市でもこの運動の一環として、水道水を用いた「ペットボトル水」を製作し、広く市民の皆さんに「安全性」や「おいしさ」をPRして水道水の利用促進を図るとともに、ラベルデザインを観光PRの素材とし全道、全国に発信していく取組を進めるものです。

## ペットボトル水で名寄をPR

ペットボトル水は今回3万本の製作を予定しており、水道水のPRはもとより、4月29日に予定されているなよろ市立天文台『きたすばる』のフルオープンでの活用を皮切りに、映画『星守る犬』の上映キャンペーンなど、今後、様々なイベントで利用します。

あわせて、試験販売も検討していますが、限られた本数での対応となることを含め、その詳細について決定後、あらためてお知らせ致します。

## デザイン、名称などが決定

ペットボトル水の顔となる「メインデザイン」およびその「名称」について、昨年12月22日から本年1月15日まで一般公募を実施し、メインデザイン49件、名称68件、サブ名称26件の計143件の応募をいただきました。

選考は、名寄市経済部産業振興室、名寄市建設水道部上下水道室、名寄市営業戦略推進委員会のメンバーによる選考委員会を設置して実施しました。

選考の結果、メインデザインは、公募中、もっとも多く多くの支持があり、また、現在進められている観光戦略とも一致する「ひまわり」と決定しました。

名称は、シンプルで読みやすい「なよろの水」が選定されました。

サブ名称については、応募いただいた中から選定に至らず、さらに検討した結果、文字ではなく、サブデザインとして、冬と天文台・星のイメージを配置することとし「道立サンピラーパークカーリング場」と「なよろ市立天文台『きたすばる』」が選定されました。

なお、ラベルデザインに採用、また採用に至るアイデアをいただいた方がたには人数限定ではありませんが記念品を贈呈することとしており、厳正に抽選を行った結果、左記の方々に決定しました。

名寄市  
開花宣言

# なよろの水



北海道名寄市

ペットボトル水ラベルの  
メインデザインイメージ図

## 入選された方の紹介

### メインデザインアイデア賞

(なよろの畑自慢倶楽部直送コースおよび「なよろの水」)

- 1 善正 彩音 名寄市内小学生
- 2 門馬 有道 名寄市内
- 3 高橋 一稀 名寄市内小学生
- 4 畠山 好 名寄市内高校生
- 5 猪又 美月 名寄市内高校生

### 名称賞

(なよろの畑自慢倶楽部直送コースおよび「なよろの水」)

- 1 赤羽 和親 川崎市内
- 2 田原 淳司 名寄市内

### 名称アイデア賞

(なよろの畑自慢倶楽部直送コースおよび「なよろの水」)

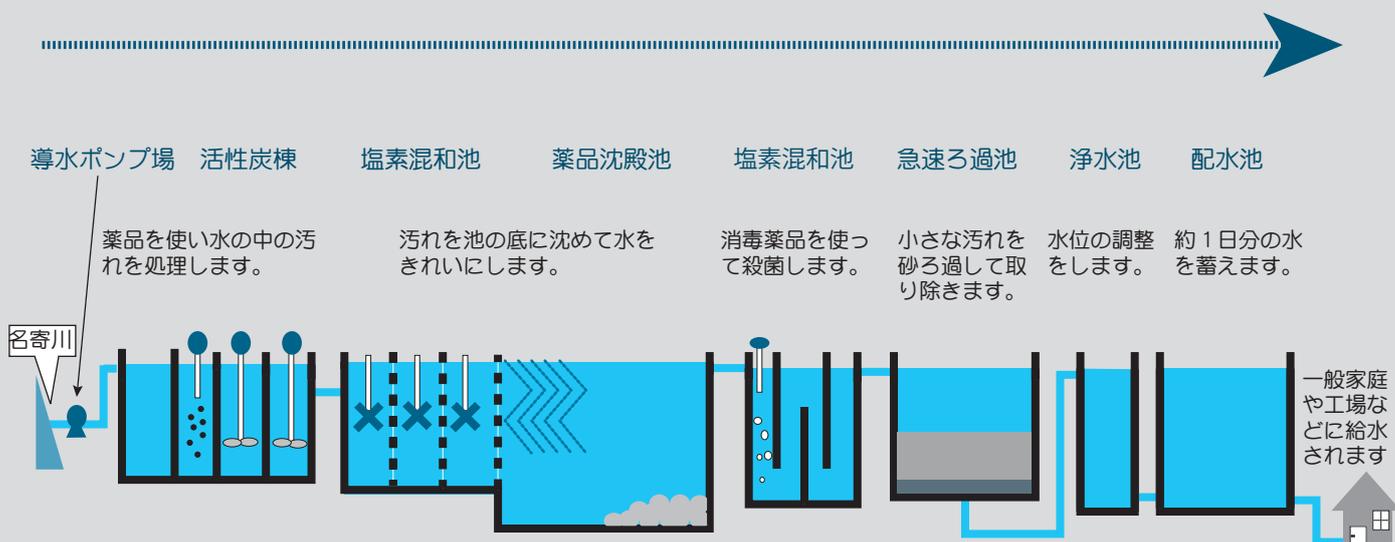
- 3 久光 涼太 名寄市内小学生
- 4 山下 冴恵 名寄市内高校生
- 5 田中 今日花 名寄市内高校生

### サブ名称アイデア賞

(「なよろの水」)

- 1 池田 多恵子 名寄市内
- 2 水口 開斗 名寄市内中学生
- 3 大西 ひさ子 名寄市内
- 4 横澤 博 名寄市内
- 5 佐藤 加奈絵 名寄市内高校生

## ペットボトル水に使用される水道水をつくる緑丘浄水場のしくみ



◎配水される水は、浄水場の水質検査施設で安全性を確認し、安全でおいしい水になって家庭まで届けられます。